



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
大東市赤井1-2-10-4F
TEL : 072-872-6349
FAX : 072-872-6552
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30
ホテル阪奈
〒574-0012 大東市龍間266-8
TEL : 072-869-0181
FAX : 072-869-0105



■会長:住川奈美 ■幹事:北田宗男 ■会報委員長:岡橋由佳
RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
2019~2020年度
国際ロータリー・テーマ

ロータリーはロータリーは世界をつなぐ
世界をつなぐ

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

第 1056 回 例会 令和 元年 10 月 9 日

- 開 会 点 鐘 : 12:30
ロータリーソング : 「奉仕の理想」
来 客 紹 介 : 親睦活動委員長
会 長 の 時 間 : 会 長
諸 報 告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
卓 話 : 福田治夫ガバナー補佐訪問
閉 会 点 鐘 : 13:30
ク ラ ブ 協 議 会 : 会 長

次回(10/23)のお知らせ

四宮孝郎ガバナー公式訪問

10月2日の例会の記録

出席報告

会 員 数 : 26 名
出 席 者 数 : 17 名
欠 席 者 数 : 6 名
出席規定免除者数 : 3 名
出 席 率 : 73.91 %
9月11日 修正出席率 : 65.21 %
↓
78.26 %

お知らせ

- ・10/11(金) 大東市子ども会フェスティバル 岩本
PM7:30~ 大東市立市民会館5F 教育長委員会会議室
- ・10/12(土) 公共イメージ向上並びにクラブビジョン策定セミナー 住川・庵谷・岡橋
13:00~17:00 大阪YMCA会館2F大ホール
- ・10/16(水) 休会日
- ・10/23(水) 四宮ガバナー公式訪問
※例会時間変更 18:30~19:30
- ・10/26(金) くずはRC45周年記念式典・祝賀会 住川・北田
式典16:00 講演17:15 祝賀会18:40 リーガロイヤルホテル大阪
- ・10/30(水) 卓話:「月間に因んで」 担当:社会奉仕委員長

お客様:
米山奨学生フォンカーマンさん



ニコニコ箱

- ・フォンさん卓話楽しみにしています。 岩本会員
- ・卓話よろしく。 田中会員
- ・理事會おつかれ様でした。北田会員
- ・フォンさん卓話楽しみです。よろしくお願ひします。 荒金会員
- ・岩本会員、フォンさん卓話よろしくお願ひします。 大東会員
- ・フォンカーマンさん頑張って！ 住川会員
- ・クリスマス等の年末予定が聞こえてきました。本当に1年はあっという間。庵谷会員
- ・いつもぎりぎりです。宜しくお願ひします！ 荒矢会員
- ・今日は少し涼しく動き易くなりました。仕事頑張ります。 西村会員
- ・出席表彰を頂いて。 西垣会員
- ・10月に入りました。早いですね。岡橋会員
- ・9/25例会欠席のお詫び。大和田会員
- ・毎日健康を祝して。 清水会員
- ・よろしくお願ひします。多田羅会員
- ・その他。樋口会員

当日計	¥33,000
今期累計額	¥351,000

《 会長の時間 》

会長 住川 奈美

10月に入りました。10月は米山月間です。

例会の後、フォーラムも行われると思いますがロータリー財団米山記念奨学会、米山梅吉について調べて参りましたのでお話ししたいと思います。

奉仕の人と呼ばれる米山梅吉（1868－1946）ですが、幼い頃に父親と死別し母の手一つで育てられました。幼少期から聡明で、その為11歳の時、米山家に養子として迎えられました。16歳になった頃、地元で板垣退助の講演を聞き、多いに影響を受け静岡より上京しました。苦学しながらも勉学に励み、20歳で米国に渡りベルモントアカデミーで留学、8年間を過ごしました。

帰国後、三井銀行に入社、常務取締役となり、その後三井信託銀行を創立、目的を社会への貢献とする。

晩年は、三井報恩会の理事長となり、ハンセン病、結核、癌研究への助成など医療事業に奉仕されました。

私財を投じ、小学校の創立もされました。

今後 日本の生きる道は平和しかない。それをアジアにそして世界に理解して貰うには、1人でも多くの留学生を迎え、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く事、これが日本のロータリーに最もふさわしい事業ではないか・・・これが米山奨学事業の始まりです。

この使命は今も一貫して変わっていません。

その他、児童保護、託児所、精神疾患保護施設、母子ホームなど多岐の亘っています。お金を出すだけでなく、自ら現地に赴き、ニーズにあった奉仕を心掛けておられたようです。

その理念をよく理解し、ぜひ米山への寄付をお願い致します。



[幹事報告]

幹事 北田 宗男

2019～2020年度 10月度 理事会 議事録

理事会報告 2019年10月2日 ホテル阪奈 例会前11:30～

出席者 住川、北田、岡橋、荒金、大東、岩本、西垣、川西、大和田、庵谷

1、審議事項

- ①入会辞退について 承認 上程 住川
先般承認頂きました谷村幸子氏が、仕事の都合上入会が困難となりました。
依って入会辞退扱いと致します。
- ②クラブスローガンについて 承認 上程 住川
本年度スローガンとして住川会長考案の「大きな輪になろう、地域で愛される
ロータリークラブへ」が賛成多数で承認致しました。
- ③フレッシュロータリアン研修交流会実行委員出向について 承認 上程 幹事
上記出向者として、大東、多田羅両会員といたします。
- ④指名委員会発足について 承認 上程 幹事
上記委員会発足と委員として住川、庵谷、森原、荒金、北田各会員といたします。
第一回開催日は、10月30日です。
- ⑤事務局有給休暇について 承認 上程 幹事
上記休暇について、10月17日(木)といたします。
- ⑥子どもシェルターぬつく、子ども食堂こひつじへの寄付金について
上記団体へ各5万円を奉仕部門社会奉仕の予算より拠出する。承認 上程 大和田
- ⑦台中南門RC訪問への予算執行について 承認 上程 西垣
祝金3万台湾ドル(12万円)は、本会計より10万円と奉仕部門予算から2万円充当する。
国際奉仕予算より土産代(京扇子)75個分251,100円拠出する。
- ⑧米山梅吉記念館募金について 承認 上程 西垣
100円*26名分を奉仕部門国際奉仕より拠出する。
- ⑨市こ連表彰式典助成金について 承認 上程 岩本
11月3日の同式典に助成金として奉仕部門青少年より8万円拠出する。
- ⑩民話集作者謝礼について 承認 上程 岩本
大東市へ寄贈予定の民話集の作者へ、製作金の残金と青少年予算合わせて
3万円謝礼金とする。
- ⑪クリスマス例会について 承認 上程 大東
12月11日の例会の開催時間と場所を変更し上記例会とします。
18時梅田ヒルトンホテル聘珍楼に変更。
- ⑫9月度会計報告について 承認 上程 西垣

2、協議事項

- ① クラブ名称変更のついて 荒金直前会長
名称変更については、会員増強特別委員会を開催し名称、行程と予算を討議します。
西垣会員より、四條畷RC元会員に事情説明と今後について懇談された事が報告され、
次月には元会長の所へ訪問し懇談の予定。



3、報告事項

大和田社会奉仕委員長

- ・10月30日の例会卓話の月間に因んでを地区出向者の青田会員に文章で依頼いたしました。
- ・薬物乱用防止教室の大内氏と今後について話し合いを行いました。

岩本青少年奉仕委員長

地区補助金プロジェクトについて、見積時と若干の差異が発生しました。見積時110円、補助金振込時108円故に民話本作成費で少額ながら予算オーバー致します。

- ・市こ連主催の新聞コンクールの審査会が10月11日に開催されます。
- ・秋のライラの募集が9月30日に締め切られます。

岩本カウンセラー

- ・大阪産業大学の留学生フェスティバルに参加予定です。
- ・奨学生のフォンさんが、9月19～24日まで中国へ旅行いたします。
- ・奨学生の地区補助金4万円以外に新たに1万円助成頂きました。
- ・奨学生のリクレーションで10月27日に宝塚歌劇に観覧いたしましう。

岡橋職業奉仕委員長

- ・9月6日四条中学校での出前授業に、住川会長、清水、西垣、北野各会員で行って参ります。

〈委員会報告〉

フレッシュロータリアン昼食会のご案内

大東出席委員長

日時：2019年12月13日（金）12：00～13：30 参加費：無 料

会場：リーガロイヤルホテル大阪 2F 桐の間

招待者：第2660地区ロータリークラブ入会 概ね5年以内の会員

参加ご希望の方は事務局までお知らせください。

新入会員歓迎会について

大東親睦委員長

日時：2019年11月1日（金）18：30～

場所：まんま家 4F （住道）

参加費：会員5,000円会員（新会員御招待）

締切日：10月25日（金）

ご参加よろしく申し上げます。

2018-19年度(前年度)理事会報告 議事録

前年度幹事 岡橋由佳

2019年10月2日(水)例会前 ホテル阪奈 例会場にて前年度理事会を行いました。

出席者 住川、北田、西垣、岡橋、荒金、大東、岩本、西垣、庵谷

前年度の会計決算が終了し、9月3日に中島会計士による会計監査が無事終了しました。前年度理事会にて報告し、承認を頂きました。決算内容につきましては「2019-20年度クラブ概況とクラブ活動報告書」に取り纏めご報告致します。

奨学金授与





●)) 先週の卓話 (●



「これまで奨学生の生活で得たもの」

米山奨学生
フォン カーマン さん

皆さんこんにちは。今日の卓話を担当させていただきます。大東中央ロータリークラブでお世話になっており、フォンカーマンと申します。大阪産業大学経営学部経営学科の4回生です。今日は「これまで奨学生の生活で得たもの」というタイトルでお話いたします。

大学の2年生の時、国際交流課の先生にロータリー米山記念奨学金を勧められました。奨学生に採用されたことで、学習に対する意識も高まり、前より頑張らなければという気持ちが生れました。この奨学金をいただいた前に、私はアルバイトを掛け持ちでした。レジ業務と英語教師を両方したが、日々の勉強や復習の時間があまりないと感じました。しかし、今は皆さまのお陰様で、アルバイトの量を減らすことができ、勉強や就職活動などにより力を入れることができました。前は自分で生活費や家賃を自分で払わなければならないと、一か月一定のお金を稼がないといけないということなので、試験の時期が特に大変でした。レポートや試験により時間を使いたいと思っても、アルバイトをしなければならなかったため、ストレスの原因にもなりました。しかし、奨学金生になった後お金の心配が減り、自分のペースで必要とされる場所で時間を使うことができるようになり、スムーズに物事を完成することもできました。そして、この間に取りたい資格も取ることができました。奨学金生になってからは秘書検定2級、日本語能力試験N1、TOEIC980点を取れました。無事に取れる理由は十分な復習な時間があり、お金の心配がなく必要な参考書も買えたからではないかと考えています。

岩本さんの推薦により、今年の春はRYLAセミナーにも参加させていただきました。日本で初めてこのようなセミナーに参加し、不安な気持ちもありながら、ドキドキし楽しみな気持ちで行きました。そこで留学生だけではなく、日本人も参加していて、実際社会に出て働いている社会人も一緒に参加していました。あっという三日間でしたが、自分だけではなく、班のメンバーたちは皆成長できたと思います。RYLAセミナーに参加する前に、自分自身は何かをやる前に、悩んだ上で物事に進められない場合も多くあります。しかし、この三日間を通じて、私は仲間を頼り、そして仲間を信じることで、目標に向かって、恐れずに前に進められるようになりました。

大学では日本人はもちろん、様々な国からの留学生と交流するチャンスがあります。しかし、米山記念奨学金生になってから、他の大学からの優秀な留学生とも交流でき、知見をさらに広げたと感じます。そして、奨学金生の中での先輩たちからも就職活動や勉強についてのアドバイスをくれました。それも私の就職活動がスムーズにできた理由の一つだと思います。

ロータリー米山記念奨学金は他の奨学金と違って、このように毎月ロータリアン達の例会に参加し、人生において経験深い方々と交流することができます。さらに、日本の文化や習慣をより一層理解できました。奨学金生として様々なイベントや活動に参加する機会もありました。去年大東市立南郷中学校へ見学しに行く機会もありました。ロータリアンたちが「働くとは」についてお話を聞いて、それぞれの仕事上の経験や人生でのアドバイスを下さいました。私は岩本さんの働く経験を聞いて、本当に刺激を受けました。そこで、自分将来日本に働くことに改めて確信できました。奨学金生として普通の留学生が体験できないことをたくさん体験できたと感じ、皆様と出会わなければ自分の留学経験はきっとこのように素敵ではないと思います。



私にはたくさんの初めては奨学生になってからです。毎月有意義な例会に参加したり、宝塚観劇を見に行ったり、皆さんと素敵なクリスマスを過ごしたり、たくさん体験させていただきました。これが私の日本留学経験をより一層鮮やかさせました。将来も立派な社会人として自立できるよう今後も一層の努力をし、日本の素晴らしさを世界に伝達し、日本とマレーシアの懸け橋になりたいと考えています。ご支援いただいている全ての方に重ねてお礼を申し上げます。ご静聴ありがとうございます。



「2019米山月間に因んで」

地区米山奨学委員会

田中 正美 委員

皆様、日頃よりロータリー米山記念奨学事業にご理解、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。また、一昨年には財団設立50周年を迎える事が出来ました事、心より感謝申し上げます。

終戦翌年の1946年“日本のロータリーの父”米山梅吉が亡くなり、3年後の1949年、戦争のため解散を余儀なくされた日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰します。戦後、落ち着きを取り戻すにつれ、米山梅吉氏の功績を永遠に偲ぶこと出来る様な、何か有益な事業をやろうではないかという声が大きくなってきました。

そして1952年、東京RCの古沢丈作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。

こうして、東京RCが始めた「米山基金」はわずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

米山記念奨学会は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。2019学年度は日本全国で868人が採用され、現在、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では世界129の国と地域から21023人を支援しています。

2660地区におきましては、本年度は53名の奨学生を迎え入れる事が出来、奨学生の受け入れを希望されるすべてのクラブに配属が出来る体制に一步近づいたのではないかと思います。

さて、2019年度の当地区の寄附目標ですが、PETS・地区協議会等において四宮がバナーがバナー方針に示されておられます様に、本年度も一人当たり30,000円(普通寄付5,000円、特別寄付25,000円)のご寄付をお願いいたしております。ロータリアンの皆様から頂くご寄付が一人でも多くの奨学生を迎え入れる原資となっております。これからの世界情勢では、国と国との懸け橋となるような、優秀な人材が果たす役割はいつそう大きくなり、米山記念奨学事業の重要性は、さらに増していくことは間違いありません。

これまで日本のロータリアンが蒔いてきた「平和の種」を、今後も絶やすことなく、大きな花を咲かせ続けていくこと、それが我々ロータリアンの使命であると思っております。10月の米山月間におきまして、国際人材育成事業としての米山記念奨学事業の素晴らしさを改めてこの機会に再認識をお願い申し上げ、更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。